

衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (7/12号)



◆ テレビ番組に出演しました。

参議院選挙の争点を報道する形で、テレビや新聞など、各マスコミが連日特集を組んでいます。玉城デニーも、生活の党の他の議員と分担して政策報道などへ参加していますが、7月1日放送の「ビートたけしのTVタックル」と、BS放送の「BS11・本格報道 INsideOUT」へ7月1日から5日までの5夜連続で出演しました。

「TVタックル」では、福島第一原発事故のその後の状況について、被災者をスタジオに招いて直接話を伺うという趣向でしたが、未だに事故が収束していないことによる被災地域除染対応の厳しさや、地域に戻れない方々への自立支援対応の遅れがスタジオで論争になりました。

玉城デニーは「被災地域や被災した方々へは国の責任で取るべき対応であり、戻れない方々の生活の自立を支えるのも、一方の当事者である東京電力だけに任せてはいけない」と発言しました。

BS11「本格報道」では、9党それぞれから政策担当者が参加し、各曜日ごとに「憲法問題」「TPP」「沖縄基地問題」「原発問題」「アベノミクス」とテーマを設定して行いましたが、生活の党からは玉城デニーがこの論戦へ参加しました。

それぞれの政策の違いについても比較する内容で、各テーマに対する取り組みもまた濃淡が表れましたが、特に沖縄の基地問題に関して玉城デニーは「主権者であるはずの県民の意思を無視していることが、この問題をさらに複雑にしている」と発言し、「地域の頭越しに進めようとしても困難である」と指摘しました。常に当事者意識を持ちながら、お互いの意見にも耳を傾ける。そのことを再認識する番組出演の機会でした。



◆ 糸数けいこ必勝出発式

7月21日投票の参議院選挙が4日公示され、県民広場で糸数けいこ必勝出発式に、生活の党を代表して玉城デニーも激励の挨拶に立ちました。

「収入の底上げどころか、株バブルでしかない経済政策を隠れみのに、安心を求める県民の声には全く見向きもしない安倍政権。その政権運営にNOの鉄槌を下す重要な選挙です。大事な公約を、当選後には反故にする政党や、選挙の為だけの見せかけの公約を掲げる候補者に騙されてはいけません。糸数けいこさんの信念こそ、この選挙の争点にも求められているものです。今こそ、沖縄県民の明確な存在を安倍政権に対して示す時です」と熱いエールを送り、支援を呼びかけました。



「暮らし、いのち、地域を守る」ことを掲げる「生活の党」が推薦した糸数けいこ氏候補も、出発式以降も連日の猛暑を何するものぞと、支持を呼びかけながら県内をくまなく、精力的に駆け回っています。

玉城デニー国政報告会in北部地区開催決定★

■日時:7月16日(火) 19:00～ ■場所:名護市大西公民館 ■入場無料

■ゲスト:糸数けいこ氏、稲嶺進名護市長

国会、委員会での登壇の様子をプロジェクターで放映しながら、今年の国会での活動をご報告させていただきます。皆様ぜひお越しください(^▽^*)

配信希望や停止、ご意見などございましたら、ご連絡をお願いいたします。

平成 25 年 7 月 12 日発行：玉城デニー事務所

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005